

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公表番号】特表2014-508146(P2014-508146A)

【公表日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-017

【出願番号】特願2013-552973(P2013-552973)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月10日 (2015.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

爪の真菌感染治療用の薬学的組成物であってこの組成物は、5%を超える量で存在する抗真菌アリルアミン化合物と、有機酸またはそのエステルと、ジオールおよび捕捉剤とから構成され、前記捕捉剤はアミノ酢酸であり、且つ本質的に水を含有しないことを特徴とする薬学的組成物。

【請求項 2】

前記抗真菌アリルアミン化合物は、前記組成物に溶解している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記有機酸は、乳酸である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記有機酸またはそのエステルは、5%～25%の量で存在する、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ジオールは、プロパンジオール、ブタンジオール、ペンタンジオール、およびヘキ

サンジオールからなる群より選択される、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ジオールは、50%を超える量で存在する、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記アリルアミン抗真菌化合物は、テルピナフィンである、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記アリルアミン抗真菌化合物は、5%～12%の量で存在する、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記アリルアミン抗真菌化合物は、8%～11.5%の量で存在する、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記アミノ酢酸は、エチレンジアミン四酢酸(EDTA)である、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

5%～25%の乳酸；プロパンジオール、ブタンジオール、ペンタンジオール、およびヘキサジオールからなる群より選択される、50%を超えるジオール；5%～12%のテルピナフィン；ならびに0.03%～1%のEDTAを含有する、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 12】

約67.5%～約84%のプロパンジオール、8%～20%の乳酸、0.03%～0.1%のEDTA、および8%～12%のテルピナフィンを含有する、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記爪の真菌感染症治療の方法で使用するための請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。